

# エコアクション21

## 環境経営レポート

令和3年5月～令和4年4月（令和3年度）



空調設備設計施工・保守管理・冷媒回収事業所・省エネ・快適提案

**FLEX** 株式会社 **フレックス**  
AIR CONDITIONING 会社

令和4年5月16日発行



# 目次

①・・・会社の概要・対象範囲	P1
②・・・環境経営方針	P2
③・・・環境経営目標	P3
④・・・実施体制	P4
⑤・・・環境経営計画	P5
⑥・・・環境経営目標の実績と評価	P6,7
⑦・・・環境経営計画の取組結果及び評価、次年度の取組内容	P8
⑧・・・環境関連法規等の遵守状況及び評価の結果ならびに違反、訴訟等の有無	P9
⑨・・・当社の取組等	P10
⑩・・・代表者による全体評価と見直し結果	P11

# ① 組織の概要

## 事業所名 株式会社フレックス

代表者名 代表取締役 宮田真澄

所在地 〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島6-11-19



事業の規模

連絡先 TEL 0952-33-0488  
FAX 0952-33-0182  
URL:<http://flex-eco.com>

環境管理責任者 宮田真澄  
事務担当者 宮田俊介

事業活動の内容

### 空調・換気設備設計施工保守管理及びフロン回収

許可の内容 建設業許可 佐賀県知事許可（般-27）  
第7648号  
許可の種類 管工事業 電気工事業

事業年度 5月～翌年4月

認証・登録の対象範囲  
活動：全事業活動  
対象組織：全社

項目	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
従業員数	人	13	14	14
床面積(倉庫含)	m <sup>2</sup>	292	292	292

## ② 環境経営方針

### 【基本理念】

株式会社フレックスは空調換気設備の専門企業として地域社会の発展に貢献することを基本理念としています。

『人に』やさしい自然環境をテーマに、環境問題にも配慮しながら、人々が快適な環境の中で暮らしていけるよう全ての事業活動の中で全員参加にて自主的、積極的に環境保全活動に取り組んでいきます。

### 【環境経営方針】

株式会社フレックスは空調換気設備の施工及びフロンの回収を通じて、EA 21 マネジメントシステムを構築し、自主的な環境経営目標・環境経営計画を定め定期的な見直しを行い継続的な改善に全社一丸となって取り組みます。

- ◇ 二酸化炭素・廃棄物・排水の排出量減に努めます。
- ◇ 電気、軽油、ガソリン等の使用量削減に努めます。
- ◇ 無駄な材料の購入を減らし、廃棄物の削減に努めます。
- ◇ 節水活動による水使用量の削減に努めます。
- ◇ 化学物質の適正使用に努めます。
- ◇ グリーン購入を図ると共に、環境に配慮した商品やサービスを提供します。
- ◇ お客様に環境に配慮した工事の提案を積極的に行います。
- ◇ 全従業員及び協力企業に対して、環境保全に対する理解と意識向上に努めます。
- ◇ 環境関連法規制等を遵守します。

制定日  
平成 29 年 10 月 10 日  
株式会社フレックス

代表取締役 宮田真澄

### ③ 環境経営目標（令和3年度）

環境目標	サイト区分	単位	基準年				
			H28年度	R1年度	R2年度	R3年度	
			H28.5.1～ H29.4.30	(3%削減) R1.5.1～ R2.4.30	(4%削減) R2.5.1～ R3.4.30	(5%削減) R3.5.1～ R4.4.30	
1 二酸化炭素排出量の削減	事務所 +現場	Kg-CO <sub>2</sub>	68.020	65.979	65.299	64.619	
	(1)電気使用量の削減	事務所	kWh	15.571	15.103	14.948	14.792
	(2)ガソリン使用量の削減	現場	L	8.345	8.094	8.011	7.928
	(3)軽油使用量の削減	現場	L	15.671	15.200	15.044	14.888
2 産業廃棄物の削減							
(1)一般廃棄物排出量の削減 (OA用紙使用量)	事務所	(Kg)	80	77	76	76	
(2)産業廃棄物排出量の削減	現場	(t)	17.8	17.3	17.1	16.9	
3 水使用量の削減	事務所	m <sup>3</sup>	125	121.2	120	118.8	
4 グリーン購入の推進	事務所 (事務用品)	品目数	-	84	96	100	
	現場	品目数	-	36	48	60	
5 フロンガス漏えい防止のための フロン排出抑制法の 自社PR件数	事務所 +現場	PR件数	-	36	48	60	

## ④ 実施体制



### 環境管理システム 役割・責任・権限表

代表取締役	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境経営システム全般に対する責任と権限</li> <li>2. 環境経営システムを構築し、実施及び維持に必要な経営資源(人材、資金設備、専門的技能)を準備する</li> <li>3. 毎年定期的に又は事業活動の著しい変更がある場合は環境目標、環境経営計画、環境経営システムの見直しを行い必要があれば是正する。</li> <li>4. 環境目標及び環境経営計画の承認</li> </ol>	
EA21責任者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. EA21システムの確立、実施推進</li> <li>2. 環境負荷・取組への自己チェックの承認</li> <li>3. 環境目標及び環境経営計画の策定</li> </ol>	各部門長 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境計画の実施</li> <li>2. 問題点の把握と是正の実施</li> <li>3. 従業員教育</li> </ol>
EA21責任者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境負荷・取組への自己チェックの実施</li> <li>2. 環境関連法規のとりまとめ及び遵守確認</li> <li>3. 教育訓練計画策定</li> <li>4. 環境文書及び記録の作成、管理</li> <li>5. 環境活動レポートの作成</li> </ol>	全従業員 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境方針、目標を理解</li> <li>2. 決められたことを守り活動を実施</li> <li>3. 自らがいつでも先頭に立ちエコアクション21の実施指導が行えるような視点を持つ</li> </ol>

# ⑤ 環境経営計画

1 二酸化炭素排出量の削減														
取組目標	責任者	達成手段	スケジュール											
			令和3年度											
			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
1 電気使用量の削減	廣瀬	① 昼休み等の不要時には消灯の徹底	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
		② 不必要な照明の消灯	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	宮田 俊介	③ 不在時のエアコンの運転OFFと適正な温度管理実施	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
		④ 空調機エアフィルターの定期清掃	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
2 燃料使用量の削減	牟田	① 急発進、急加速の禁止	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	武田	② アイドリングストップの徹底	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	副島	③ 法定速度運転の推進	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	西村	④ 走行日報による車両の管理	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	佐々木	⑤ 相乗りによる工事現場への移動の徹底	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
2 廃棄物排出量														
取組目標	責任者	達成手段	スケジュール											
1 一般廃棄物排出量の削減	宮田 翔平	① 社内LAN、データベース等の利用による文書の電子化に取り組む	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
		② 両面コピー及び印刷の徹底	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
		③ 裏紙をメモ等に利用した用紙の削減	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
2 産業廃棄物排出量の削減	牟田	① 一般廃棄物、産業廃棄物の分別の徹底、削減	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
		② マニフェスト管理による適正処理	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
3 水使用量の削減														
取組目標	責任者	達成手段	スケジュール											
1 水使用量の削減	廣瀬	① 手洗い時、洗い物において日常的に節水を励行する	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
		② 節水シール等の表示	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
		③ 洗濯物の洗剤の使用を減らす	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
4 車両の燃費向上														
取組目標	責任者	達成手段	スケジュール											
1 ガソリン車両 軽油車両の燃費向上	江原	① エコドライブ10の推進	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	檜原	② 定期的なタイヤ空気圧の点検	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	檜原	③ 移動コースの効率化	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
5 フロンガス漏えいの防止のためのフロン排出抑制法のPR														
取組目標	責任者	達成手段	スケジュール											
1 フロンガス漏えいの防止の ためのフロン排出抑制法の PR	江原	① 工事完了後、機器取扱い説明時にフロン排出抑制法のPRを行う	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	檜原	② 適切なフロン回収の実施及びフロン回収量の記録	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	瀬戸口	③ 知識、技術の向上、新入社員への回収手順の教育	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶

## ⑥ 環境経営目標の実績と評価（令和3年度）

環境目標	サイト区分	単位	H28年度 H28.5.1～ H29.4.30	2021年度（R3年度）暫定 R3.5.1～R4.4.30			
			基準年度	目標△5%	実績	達成率	評価
<b>1</b> 二酸化炭素排出量の削減	事務所 +現場	kg-CO <sub>2</sub>	68.020	64.619	63.273	102%	○
(1)電気使用量の削減	事務所	kWh	15.571	14.792	14.438	102%	○
(2)ガソリン使用量の削減	現場	L	8.345	7.928	6.910	114%	○
(3)軽油使用量の削減	現場	L	15.671	14.888	15.754	95%	△
<b>2</b> 産業廃棄物の削減							
(1)一般廃棄物排出量の削減 (OA用紙使用量)	事務所	(Kg)	80	76	60.9	124%	○
(2)産業廃棄物排出量の削減	現場	(t)	17.8	16.99	10.0	169%	○
<b>3</b> 水使用量の削減	事務所	m <sup>3</sup>	125	118.8	116.0	102%	○
<b>4</b> グリーン購入の推進	事務所 (事務用品)	品目数	-	-	-	通年継続	通年継続
	現場	品目数	-	-	-	100	○
<b>5</b> フロンガス漏えい防止のための フロン排出抑制法の 自社PR件数	事務所 +現場	PR件数	-	60	49	81%	×

評価の基準・・・達成率90%未満（×） 達成率90%～99%（△） 達成率100%以上（○） とする。

達成率（削減目標）＝（目標÷実績）×100%

達成率（増加目標）＝（実績÷目標）×100%

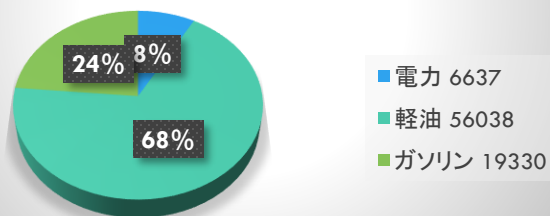
\* 二酸化炭素排出量における購入電力の調整後排出係数は0.483kg-CO<sub>2</sub>/kWh(九州電力平成28年度)を使用。

\* \* ルームエアコン等の工事でグリーン購入法の対象商品を取り扱った場合も品目数の数値に加算するものとする。

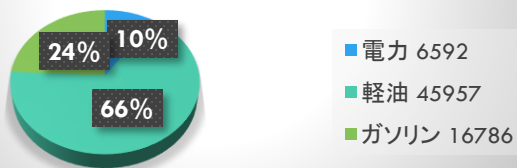


## 二酸化炭素総排出量の推移

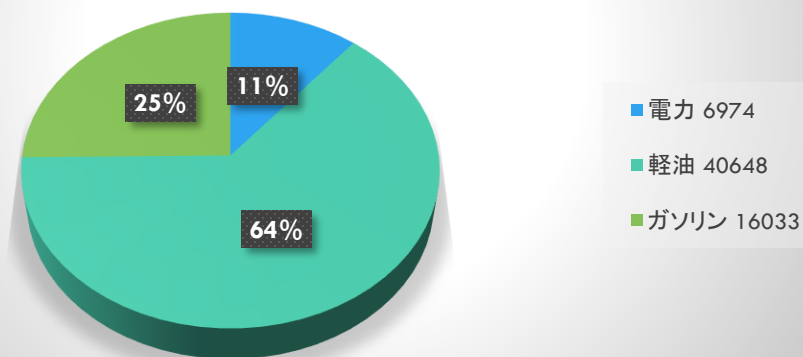
2019年度(令和元年度)  
二酸化炭素 総排出量  
82005(kg-CO<sub>2</sub>)



2020年度(令和2年度)  
二酸化炭素総排出量  
69336(kg-CO<sub>2</sub>)



2021年度(令和3年度)  
二酸化炭素総排出量  
63273(kg-CO<sub>2</sub>)



### 評価

車両燃料の二酸化炭素排出量が多い。  
次年度から各車両の燃費向上を促進させる。

# ⑦ 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容(令和3年度)

【 R3年度 】

2021.5～2022.4

## 1 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	取組内容	取組結果・評価				次年度の取組	
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	R4年5月～R5年4月	
1	電気使用量の削減	昼休み等の不要時には消灯の徹底	○	○	○	○	昼休み問わず不要な照明を消す意識はできている。
		不必要な照明の消灯	○	○	○	○	次年度も継続して取り組む
		不在時のエアコンの運転OFFと適正な温度管理実施	○	○	×	×	温度設定のスケジュールタイマーを有効活用する。
		フィルターの定期清掃	○	○	○	○	次年度も継続して定期清掃を行う。
2	燃料使用量の削減	急発進、急加速の禁止	○	○	△	○	次年度も継続する。
		アイドリングストップの徹底	○	×	×	○	夏場、冬場のさらなる向上を意識する。
		法定速度運転の推進	○	○	○	○	次年度も継続。
		走行日報による車両の管理	○	○	○	○	次年度も継続。
		相乗りによる工事現場への移動の徹底	×	×	△	○	短距離現場での意識を向上させる。

## 2 廃棄物排出量

取組目標	取組内容	取組結果・評価				次年度の取組	
1	一般廃棄物排出量の削減	社内LAN、データベース等の利用による文書の電子化に取り組む	○	○	○	○	電子化での対応をさらに向上させる。
		両面コピー及び印刷の徹底	○	○	○	○	徹底できているので持続させる。
		裏紙をメモ等に利用した用紙の削減	○	○	○	○	徹底できているので持続させる。
2	産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物の分別の徹底、削減	○	○	○	○	庫内一斉清掃を継続し、分別内容を分かり易く掲示する
		産業廃棄物のマニフェスト管理による適正処理	○	○	○	○	次年度の取組も継続して行う。

## 3 水使用量の削減

取組目標	取組内容	取組結果・評価				次年度の取組	
1	水使用量の削減	手洗い時、洗い物において日常的に節水を励行する	△	×	○	○	次年度も全従業員で節水を行う。
		節水シール等の表示	○	○	○	○	次年度も全従業員で節水を行う。
		蛇口に節水コマの設置を検討	○	○	○	○	次年度も全従業員で節水を行う。

## 4 グリーン購入の推進

取組目標	取組内容	取組結果・評価				次年度の取組	
1	グリーン購入の推進	エコマーク商品の優先的購入	○	○	○	○	例年通り率先して購入。次年度は別計画とする。
		グリーン購入法基準をクリアしたエアコンの販売促進	○	○	○	○	例年通り率先して購入。次年度は別計画とする。

## 5 フロンガス漏えいの防止のためのフロン排出抑制法のPR

取組目標	取組内容	取組結果・評価				次年度の取組	
1	フロンガス漏えいの防止のためのフロン排出抑制法のPR	工事完了後、機器取扱い説明時にフロン排出抑制法のPRを行う	○	○	○	○	R-22撤廃も含めPRし省エネ機器を提案する。
		適切なフロン回収の実施及びフロン回収量の記録	○	○	○	○	次年度の取組も継続して行う。
		知識、技術の向上、冷媒フロン類取扱技術者資格の取得	○	○	○	○	新入社員に資格を取得させる。

\* 取組結果の評価基準 良好 ○ やや不十分 △ 不十分 ×

⑧ 環境関連法規等の遵守状況及び評価の結果ならびに違反、訴訟等の有無

法令の名称	法令条項	責務概要	違反・訴訟の有無	遵守結果
廃棄物処理法	第6条	一般廃棄物の収集業者への委託処理	無	○
	第12条2項	産業廃棄物の適正保管	無	○
	第12条5項	産業廃棄物の委託処理	無	○
	第12条3項	マニフェストの保管・管理	無	○
建設リサイクル法	第10条	対象建設工事の発注者または自主施工者の 対象工事の届出	無	○
	第16条	再資源化等の実施	無	○
	第18条	再資源化等の報告	無	○
騒音規制法	第14条	特定建設作業実施の届出	無	○
	第15条	振動の規制基準の遵守	無	○
振動規制法	第14条	特定建設作業実施の届出	無	○
	第15条	振動の規制基準の遵守	無	○
家電リサイクル法	第6条	製品廃棄の際の適正な引渡、処理料金の支払い	無	○
フロン排出抑制法	第86条	管理者の判断基準	無	○
	第2条	第一種フロン類回収業者の登録	無	○
	第16条	業務用空調機の簡易点検	無	○
	第46条	フロン類引き渡し義務	無	○
	第41条	第一種フロン類回収業者の引き渡し義務	無	○
	第47条	回収量の記録	無	○
	第74条	フロン類回収等の料金負担	無	○
	第70条	フロン破壊証明書の回付、保存	無	○
労働安全衛生法	第66条	健康診断の実施	無	○

### 主な環境関連法規の遵守結果

当社に適用される環境関連法規等への違反はありませんでした。  
また公的機関や外部からの違反の指摘や訴訟もありませんでした。



### 整理整頓

無駄な材料在庫削減



### 人感センサートイレ照明

消し忘れ防止の徹底



### エアコン温度適正管理

節電意識向上



### 不必要な照明の消灯

不在時のPCもOFFに徹底



### 産業廃棄物の適正分別

飛散防止ネット取付

# ⑩ 代表者による全体評価と見直し結果

【取り組み状況の評価結果】 但し第3四半期迄  
 エコアクション21の取り組み期間が3年を経過した現在 社員の取り組み方にも徐々に浸透してきていると思います  
 ガソリン・軽油使用量に関しては、一昨年と比較して近場の現場が多かった為に目標達成となった引き続き可能な範囲で乗り合いを意識して二酸化炭素排出量の削減に努めていきたいと思ひます  
 電気使用量については継続中である空調の設定温度の調整や照明の細かいON・OFF等の節電にて若干ではあるが目標値を達成しています 今後も継続していきたいと思ひます  
 事務所の産業廃棄物についてはゴミの分別等がきちんとできているので引き続き継続していきたいと思ひます 水使用量の削減については節水型の洗濯機購入で節水にむむように努めたい  
 フロン排出抑制法はユーザー様の意識も徐々に認識していただけるようになってきているので今期も簡易・定期点検のユーザー様の獲得に尽力していきたいと思ひます  
 目標が達成できなかった方針については、更に原因の把握と活動内容に是正と目標値の見直しを行い すべての方針が達成できるよう 継続して全社員が自覚を持って環境保全に努め、環境型社会の構築に貢献し地域社会の信頼関係の構築を今後も目指します

【変更の必要性の判断】

- ①環境経営方針：変更の必要は無い 必要ない
- ②環境経営目標：変更の必要がある 運用年度の見直し
- ③環境経営計画：変更の必要がある 運用年度の見直し

【目標・環境活動計画の達成状況】  
 (詳細は環境活動計画書による)

目標項目	達成地	活動計画	コメント
	達成状況	実施状況	(目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)
電力の削減	○	○	全社員へ削減の意識が継続していると思ひます
燃料使用の削減	×	△	比較的近場の現場が多かったことにより目標数値を達成されると思ひます
一般廃棄物の削減	○	○	事務機器・ソフト等の導入によりペーパー化は継続されていると思ひます
産業廃棄物の削減	○	○	今期も従来からの廃棄物分別の徹底は継続されています
節水	○	○	今期も全社員で削減の意識が継続されていると思ひます (節水型洗濯機導入)
フロンガス漏洩防止の為に フロン排出抑制法のPR件数	○	○	今期も取り組みが継続されていると思ひます

〈改善への提案〉  
 達成出来なかった項目・活動計画の実施状況が良くない項目については 蓄積しつつあるデータを再度その原因を究明し、引き続き社員一同で達成手段の徹底に心掛けるようにする

〈その他判断材料〉  
 法規遵守状況確認記録、外部コミュニケーション記録、是正処置記録、前回の見直し記録

【周囲の変化の状況】  
 フロン排出抑制法に対するユーザー様からのお問合せが徐々に増えてきていると感じます

〈総括〉  
 引き続き社員一人ひとりに一層の活動の趣旨を浸透させ、環境負荷低減に努めていくこと  
 環境経営システムは有効に機能している、現状を継続していくこと

株式会社フレックス  
 代表取締役 宮田眞澄

